

第38回県民スポーツ祭 第57回群馬県スポーツ少年団大会 柔道実施要項

- 1 日 時 令和3年8月1日（日） 集合9：00
- 2 会 場 ALSOK ぐんま総合スポーツセンター ぐんま武道館 第1道場 前橋市関根町800
(TEL：027-234-5555)
- 3 参加資格 (1) 監督、コーチは、登録済みの当該少年団の指導者であること。
但し、申込責任者・監督・引率責任者は、少なくとも2名のスポーツ少年団の理念を学んだ
コーチングアシスタントや、認定育成員または認定員の有資格者であることとする。
なお、スポーツ少年団登録をした理念を学んだ指導者がいない団においては、令和3年度に
限り、理念なしの指導者や役員・スタッフであっても参加できることとする。
(2) 選手は、登録済みの日本スポーツ少年団員であること。
(3) 小学生は、4年生以上とし、スポーツ傷害保険に加入済みの者で、1種別につき1団1チ
ーム出場とする。
(4) 重複した団体からの出場は禁止する。
- 4 競技方法 (1) 団体トーナメントとする。
(2) 勝ちチーム決定方法。
・勝ち点の数による。
・勝ち点と同じ時は、内容（「一本」勝ち、「技あり」優勢勝ちの数）による。
・内容も同じ時は、任意（自由選出による）とする。（ゴールデンスコアは行わない）
- 5 判定基準 (1) 「国際柔道連盟試合審判規定及び少年大会特別規程」による。
(2) 優勢勝ちの判定規定は、「技あり」または「指導差2以上」があったときとする。
(3) 試合時間は、小学生2分、中学生3分とする。
- 6 チーム編成 (1) 小学生男女A・中学生男
監督1名・先鋒・次鋒・中堅・副将・大将・補員2名計8名以内
選手5名に満たない場合（申込み時）は大将から詰める。
(2) 小学生男女B・小学生女・中学生女
監督1名・先鋒・中堅・大将・補員2名 計6名以内
選手2名の場合は中堅、大将で出場させるものとする。
(3) 選手配列は体重の軽い者より先鋒から順に配列する。（補員が入った場合も左記のとおりと
する。）
(4) 選手交代については、一度退いた者の再出場は認めない。
(5) 小学生男女ABは重複は認めない。片方1チームのみとする。
- 7 組 合 せ 組合せ抽選は、専門部会員による責任抽選とし、結果は市町村本部を通して各団へ配布する。
抽選期日 **令和3年6月27日（日）**
- 8 審 判 員 参加チームより2名帯同、審判員はライセンス取得者とし、かならず出席できる方。
- 9 申込み先 各市町村スポーツ少年団事務局は別記申込書を取りまとめ**6月25日（金）まで**に下記あて提出
すること。（申込みの際、スポーツ少年団登録システム「名簿のダウンロード」から登録者名簿
を印刷し添付すること。）
申込先①
〒371-0047 前橋市関根町800 ALSOK ぐんま総合スポーツセンター内
群馬県スポーツ少年団事務局あて TEL 027-234-5555
なお、単位団は各市町村スポーツ少年団に申込書を提出するとともに申込書（Excel ファイル）
を下記申込先②にてEメールにて添付し送信すること。
申込先②
〒376-0001 桐生市菱町1-29-7
群馬県スポーツ少年団柔道専門部会 事務局 高橋 幸夫 宛
TEL/FAX 0277-22-5023 携帯 090-3064-9739
E-mail y.takahashi@kuc.biglobe.ne.jp

16 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

- (1) 参加チームは、引率責任者・監督・選手・保護者など当日来場する者を「健康状態申告書」に記入し、各チーム一括でまとめて当日大会受付に提出すること。
- (2) 各チームに伴って入場できる責任者は3名までとする。
- (3) 試合中を除き、原則マスクを着用すること。当日未着用者は会場への入場を認めず配布も行わない。また、マスクをしまう袋を持参し、マスクを外す時はその袋にしまうこと。
- (4) 会場内では、いかなる場面においても密集・密接を避け（他の人との前後左右の距離を極力2mとる）、特に対面での会話や接触行為（握手、ハイタッチ、ハグ等）や声を出しての応援は禁止とする。
- (5) 会場内での水分補給を除く飲食は原則禁止とする。
- (6) 各自ごみ袋を持参し、ごみを持ち帰ること。
- (7) 大会当日は、待機場所や観戦場所、動線誘導等、大会運営員の指示を遵守すること。
- (8) 大会当日や大会日から14日以内に、発熱や風邪、咳、痰、胸部不快感、強いだるさや倦怠感および味覚・嗅覚を感じない等の症状がある場合には、参加を認めない。
- (9) 大会日から14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は、参加を見合わせる。
- (10) 大会参加者に感染が判明した場合、速やかに群馬県スポーツ少年団本部（Tel.027-234-5555）に連絡すること。その際、感染者の健康状態申告書に記載された情報を関係機関に公表する場合がある。
- (11) 健康状態申告書に記入された内容の虚偽や、大会運営において著しい妨害行為（マスク未着用、大会運営員の指示に従わない等）が認められた参加者ならびにチームに、大会参加の取り消しや以降の活動へのペナルティを課す場合がある。

10 その他

- (1) 参加については、学校行事を確認のうえ申込みすること。（授業参観・臨海学校等）
- (2) 脳振盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守すること。
 - a 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - b 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、脳神経外科の専門医の精査を受けること。）
 - c 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - d 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (3) 全日本柔道連盟からの通達による「コーチの振る舞い」についてを守る。
- (4) 選手名を明記したゼッケンを付けること。
- (5) 参加単位団は、必ず団旗を持参すること。
- (6) 大会終了後審判及び各団体の責任者による反省会を実施する。
- (7) **オーダー表を各単位団で準備する。サイズは模造紙4分の1サイズとする。※**
- (8) 試合場には選手・監督・コーチ・大会役員・審判員・係員・報道記者以外は入れない。
なお、監督・コーチは審判員に準じる服装であること。
- (9) その他詳細については申込先①・②に問い合わせること。
- (10) **新型コロナウイルス感染症の拡大等により、群馬県の警戒レベルの引き上げや施設の利用制限の変更等が生じた場合には、大会開催を中止する場合がある。**

※オーダー表（例）

模造紙の短辺

模造紙の長辺 1 ／ 4	先	次	中	副	大	チ ー ム 名